



第 32 号
平成 20 年 10 月 18 日 発行
発行所
明浄学院高等学校照思会
大阪市阿倍野区文の里3丁目15番7号
電話 大阪 06 (6623) 0016

平成二十年度 総会あいさつ



照思会会長 福本 幸子

すがすがしい秋を迎え、照思会の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

そこはかとなく木犀の香りがただよい、山々では紅葉の季節を迎えています。今年の夏は、温暖化の影響もあり、例年にも増してうだるような暑い日が続きましたので、ご体調をくずされ方もおありだったのではと案じております。暑からず寒からずの好季節の今を楽しみたいものです。

さて、ご承知のように、昨今の少子化による影響で新会員が減っております。大切な照思会を皆様のご意見を賜りながら進めたいと存じますので、その第一段として今年度の「総会のご案内」にアンケートを全員の皆様に同封させていただきました。総会出欠に関わらずご返送していただき、貴重なご意見を賜りたいと思います。また、通信費用(約1万7500通発送)に

ながらすっかり花をつけていました。来年の成長を楽しみにしたいと思えます。照思会の梅の木、桜の木を見に、皆様もぜひお出かけ下さいませ。

去る8月15日の終戦記念日に、石碑「非戦の誓い」の除幕式が枚方市で開催され、岡田校長先生、辻江元校長先生、渡部宏先生、照思会の有志が参列いたしました。学徒動員で、本校からも23期生の仁丹美智子様らが、昭和20年5月から終戦まで爆弾に火薬を詰める危険な作業に携わられました。戦後63年がたち記憶が薄れゆく風化されようとして今、平和の尊さを後世に語り継ぐため非戦の碑が建てられました。式で、仁丹様も当時の思いを語られました。国家の命令のもと激動の少女時代を生きた先輩方に改めて敬意を表したいと思います。

最後に、去る7月10日にお亡くなりになりました竹上前会長に哀悼の意を表しますとともにご冥福をお祈り申し上げます。とは言え、突然のご逝去は、私達にとりまして無限の悲しみです。照思会を大切に思い、照思会の為、母校の為に心血を注がれた竹上前会長のご遺志を引き継ぎ、また、皆様のご指導とご鞭撻を賜りながら照思会を盛りたてていきたいと思っております。どうぞよろしくお祈り申し上げます。

照思会皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

照思会総会開催おめでとうございます



学校長 岡田 修

照思会会員の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

今回、第八十二回の総会を開かれること、また皆様がお元気でこの会に集まれることは大変喜ばしいことと存じます。

照思会の会長様はじめ役員の方々、会員の皆様には、日々母校のためにご尽力・ご支援をいただき誠にありがとうございます。お蔭様で、昨年度よりの国際交流も着実にその成果を上げています。四月早々には、オーストラリアのマリスト校からの第一回短期交換留学、八月にはマリスト校への第二回交換留学も無事成功裏に終えることが出来ました。部活動においても、昨年に引き続き吹奏楽部は、関西代表として全国大会出場することが決定しました。また、ソフトテニス部やソフトボール部が近畿大会に出場する等、各クラブも大いに活躍をしています。照思会には各大会出場に際し、多大なご支援を頂き心よりお礼申し上げます。

照思会会報発行にあたり、私のこの夏の思いをご披露したいと存じます。一昨年の奥田元会長のご逝去に続き、今夏、竹上前会長がお亡くなりになりました。本校同

窓会の発展に大きく寄与されたお二人の元会長様を失ったことは、本校にとって大きな痛手となりました。竹上前会長には照思会会長として、また学院理事として学院とりわけ高等学校の発展のため、絶大なご尽力をいただきました。

会長最後の年には中之島中央公会堂での八十周年記念総会を盛大に開催され、また、明浄の校章に用いられている紅白の梅の木を母校にもご寄贈頂きました。竹上前会長がお好きであった桜の木を大阪市朝公園にも植樹されたことも伺っております。竹上前会長の明浄を思う気持ちを大切に引き継ぎ、これからの学院の発展に寄与することが前会長へのご恩返しであると共に供養であると存じます。この紙面をお借りして謹んでご冥福をお祈りいたします。

今年のNHK大河ドラマでは宮崎あおいさんが天璋院・篤姫を好演され、「篤姫」ゆかりの鹿児島では、篤姫館の創設をはじめ大変な「篤姫」ブームが起っています。篤姫については、今回の大河ドラマ放映までは、その存在は地元の方もご存知の方は少なかつ

たと聞きました。今回のドラマでは、討幕派の薩摩藩の出身で徳川家に御台所として興入れをした「篤姫」が、将軍家定の死後、幕末の動乱の中で、徳川家の存続のため薩摩藩と徳川幕府との間にあって、自らの信じた道を、信念を持って歩む姿が描かれています。興入れ先の人間として、その家族の将来を案じ、守るべきものを見いだし守ろうとする姿勢。また、公武合体により徳川家に降嫁された皇女和宮との間にある嫁姑としての人間関係が絢爛に描かれています。「篤姫」が醸し出す女性の優しさ・たくましさの数々。また、核家族化の現代の社会で失われつつある家制度が持つ意味が視聴者心に響き、今回のブームとなっているように思います。そこには、時代が変わっても変わらぬ視聴者の普遍的思いがあるのではないのでしょうか。

八月十五日終戦記念日の日には、枚方市の旧陸軍工廠香里製造所に学徒動員された、旧制府立泉尾・市岡・明浄高等女学校同窓の方々が、香里が丘の公園に石碑「非戦の誓い」をたてられ、その除幕式に参列する機会を得ることができました。合わせて動員された方々の手記をまとめた「女子学生の戦争体験」も拝読させて頂きました。自宅は悲惨な大阪大空襲の被害に遭われ、また自身は学徒動員の名のも

竹上 曉美 前会長を 偲んで

“櫻”によせて

35期生 郷田 光代

前、照思会会長竹上曉美様が逝去されて早一ヶ月余り、日々刻々と時は過ぎ故竹上様は優しさで強さを常に持ち合わされた素晴らしい女性だったと再確認致しました。

櫻の花がとてもお好きで建築家の安藤忠雄氏発案の「大阪の街にワシントンC・Tに負けない櫻を」に賛同され、照思会八十周年記念事業の一環として八本の記念樹を切望され、大阪市観光事業部へ度々申し出にこ一緒致しました。照思会役員の皆様の同意を得て、寄付集めに奔走し、最後には会長様の多大なご尽力を賜りお蔭を以って平成十九年春には早くも朝公園北側に八本の櫻が植樹され実現と成りました。今年平成二十年四月には闘病のお身体で照思会の役員をお招き頂き、楽しい一時を過ごしたのが最後のお別れとなりました。八

本の櫻が咲き誇った様子をしっかりと御覧頂けなかったのがとても残念でなりません。残されたお嬢様恵さん愛さんには後々亡きお母様には是非共報告よろしく願います。

又照思会の皆様には来春朝公園に一同集合と願いたいものです。其の節は、お一人お一人の眼で櫻をご覧頂き生前多大なる功績を残された竹上曉美様の生前の姿を偲んで頂きます様切にお願い申し上げます。八本の櫻の木には一期生より八十期生の順に一本一本丁寧に寄付して下さい。方々のネームプレートが付けられていますので確認して頂けると幸いです。最後に短くも貴き生き方全うされた前会長、故竹上曉美様のご冥福をお祈り致します。

慈徳院釋尼真暁

黄泉の国にて永遠に幸あれ



合掌

友人 曉美さんとの思い出

41期生 川下 秀子

前会長の竹上曉美さんは、去る2008年7月10日午前2時47分長い闘病生活を続けてこられました。惜しくも逝去されました。ご葬儀は大阪市立やすらぎ天空館で行われました。たくさんの方々がご参列して下さいました。竹上前会長のお付き合いの広さに驚き人徳を再認識させられました。私は友人の一人として明浄学院中学校の頃よりずっとお付き合いさせて頂いていました。学生の頃を思い出しますと、高校の時集會委員長をされていて、いつも朝礼の

「竹上会長を 偲んで」

36期生 藤原 輝子

竹上会長貴女は、明浄学院高等学校を思い、又、照思会を思う心は、人一倍でした。照思会にお誘い頂いてからの付き合い合いました。貴女は、いつも明るい声、笑顔で接して下さいました。体調の事もありませんが、照思

亡き友をしのびてをれば我が孫は「心の中で生きてるよ」と

ご冥福をお祈り申し上げます

合掌

時台の上に乗る元気にマイクで「おはようございます」と号令をかけておられた光景を思い出します。松坂の実家にはたくさんのお友達と一緒に連れて行ってもらい一泊して帰った楽しい思い出や喫茶店を借り切ったにぎやかにクリスマスパーティーを楽しんだ竹上曉美さんとの学生時代を思い出します。卒業してからはいつも竹上曉美さんが皆の都合を聞いたうえで旅の予約、スケジュールを組んで下さり国内旅行や海外旅行に連れて行ってくれました。最近では温泉へ行って楽しく食事をいろいろな話に花を咲かせ、悩み事や子供のことなどの話をし、泣いたり笑ったり話がつきませんでした。竹上曉美さんには、すごく暖かく的確に前向きな考えをアドバイスしてもらい帰りはいつも皆頑張ろうと有難うまた食事に行こうねと別れていました。私は三年前前照思会80周年のお手伝いを頼まれました。力になれるかなと不安でしたが高校二年の時からお付き合いさせて頂いている石田真弓さんと一緒に引き受けました。石田さんも竹上曉美さんと親しくなり食事に行ったり旅行にも行きました。竹上前会長は、会長を引退され福本幸子会長・吉岡多喜子副会長・牧経子副会長に引継ぎできたこ

とは大変喜んでおられました。今後も活躍して下さいることを信じ願っておられると思います。私たち友人は暖かい友情をたくさんもらいました。少しもお返しできずすごく悔しいです。もっともっと旅行へ行ったり食事をしたりして長く長くお付き合いしたかった思いで一杯です。葬儀委員長の最後のご挨拶ありがとうございました。辻江元校長先生の心のもった温かいお言葉を頂きまして本当に有難うございました。竹上曉美さんのお人柄が偲ばれる思いでした。竹上曉美さんは写真の笑顔がたくさんの花に囲まれた皆さんの心のもったお見送りに安堵されていることでしょう。たくさんの方々の明浄学院高等学校関係の方々、照思会の方々、41期生の方々にご参列して頂き私たち友人も深く感謝申し上げます。本当に有難うございました竹上曉美さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。



照思会前会長竹上暁美様を偲んで

照思会副会長 吉岡多喜子 42期生

私は竹上暁美前会長様とは四年程のおつきあいになりますが生前は照思会発展のため会長として十年という長きに渡る活動に心血を注いで来られました。その熱い情熱と深い愛情を照思会のみならず明浄学院高等学校へも懸けていられたのを強く思い出します。

「何故！そんなに急いで逝ってしまったの！」と怒りすら湧いてきます。本当に惜しい方を亡くしてしまいました。

もっと、もっと、ご指導賜りたかったと悔やまれます。人一倍働き、人の輪を作り、人から学んだ大切なひとつひとつをこれからも忘れず、大事にして行きたいと思う気持ちでいっぱいです。竹上暁美様と出会えた事を感謝して心よりご冥福をお祈りいたします。

「立派な人」と形容する言葉だけでは言い表せないほど責任感と行動力を併せ持ち、且つ、きめ細かな心配りの出来る優しい人でもありました。ご自身の体調が優れない時でもいつも笑顔で和やかに接して下さった姿が目につかびます。早すぎるお別れに寂しさより

「総会へのお誘い」

18期生 柳生 富美子

照思会の皆様、お元気で過ごしのことと存じます。

昭和十八年に卒業しまして半世紀と十五年も過ぎました。照思会の総会には八十周年記念同窓会をはじめ十五回参加させて戴きましたがそれぞれに思い出が御座います。総会の実行委員



の皆様のご苦勞を考えますと出席せねばと愛校精神が沸いて参りまして。どうぞ皆様も是非出席して母校の思い出をお友達と語りて頂きたいとお願ひ致します。昭和二十年三月十三日大阪大空襲で罹災し逃げ感った事等戦争の体験を致しましたが昨年「女学生の戦争体験」の御本を

贈呈して頂き母校の後輩たちの戦争体験をはじめ知り驚愕いたしました。香里製作所と聞くだけでも身の毛がよだつことでしょう。女学生まで学徒動員されたのですね、はじめての合宿生活お粗末な食生活、戦時下なので仕方ないが、又荷車に爆弾の箱を積んで運搬されたとの事。どんなに怖かったかと心えぐられました。とわに戦争はゴミンです

クラブ等活動紹介 (前号より平成二十年八月現在)

- ◎十九年(八月)
 - ◎「第九回全国「水」の俳句大会」
 - 夏(の山耳をすませば水の音) 入選 貞森 早希
 - 五月雨の水溜残す青の草 入選 赤堀 美香
 - 夕焼けの中ではじける水風船 入選 佐々木 萌
 - 五月雨に打たれどうじずカタツムリ 入選 菊川 里奈
 - 水遊び水とたわむる太陽の子 入選 隅谷 美月
 - ◎第五十回全国硬筆作品展覧会 高等学校の部
 - 文部科学大臣賞 二年 宮垣 愛
 - 大阪市長賞 一年 伊藤 恵子
 - 大阪府PTA協議会長賞 二年 青木 美樹
 - 全日本芸術振興学会賞 二年 岡田 史奈
 - 大阪府PTA協議会長賞 二年 徳原 亜純
 - 全日本芸術振興学会賞 二年 前田美菜子
 - 日本書道芸術連盟協議会長賞 二年 田中 真優
 - 日本書道教育連盟賞 一年 藤田 夕紀
 - 全日本青少年書道振興協会賞 三年 加藤 夕紀
 - 大阪市PTA協議会長賞 一年 村田 純美
 - 研究発表賞 一年 長友 弥那
 - 女子有段の部 二年 小林 麻未
 - 女子段外の部 五十名
 - ◎第三十五回阿倍野区民剣道大会
 - 優 辻村 梓
 - 二 岩本 智佳
 - 位 久保田朋子
 - ◎第二十三回全国硬筆コンクール
 - 大阪府知事賞 大阪府 二年 青木 美樹
 - 審査委員会賞 大阪府 二年 村居 佑香
 - 書写検査賞 大阪府 一年 小林 麻未
 - 特別教育奨励賞 大阪府 二年 安田 彩香
 - 一年 堤 早希
 - ◎第二十七回近畿高等学校総合文化祭
 - 書道部門
 - 入選 久保 文乃
 - 入選 村田 純美
 - 五位
 - ◎第五十四回大阪私立立高等学校総合体育大会
 - バスケットボール女子の部
 - 入選 三年 嵯原 朱美
 - ◎第五十三回読書感想文コンクール
 - 入選 三年 嵯原 朱美
 - ◎第五十八回大阪高等学校総合体育大会
 - スキー
 - 高校女子クロスカントリー5kmクラシカル部 第五位 辻中 瑞絵
 - ◎第五十一回全国書きぞめ作品展覧会
 - 全国優勝
 - 賞状 明浄学院高等学校 一年 山下優理亜
 - 賞状 二年 糸川 可純
 - 賞状 二年 中林 麻未
 - 賞状 二年 青木 美樹
 - 賞状 二年 宮垣 愛
 - 賞状 二年 渋谷 香苗
 - 賞状 二年 五島 愛夢

- ◎日本書道芸術連盟協議会長賞
 - 全日本青少年書道振興協会賞
 - 大阪府PTA協議会長賞
 - 研究発表賞
 - 二重県「光の一句」応募作品
 - テーマ部門
 - 佳作 光る汗輝く涙青春だ
 - 佳作 頂点の光を指し猛ダッシュ
 - 佳作 雨上がり色づく小径散る紅葉
 - 佳作 秋風に吹かれて二人語りをり
 - 佳作 ゆず風呂の香りにつまれ眠りつく
 - 佳作 見上げれば秋空広がる帰りの道
 - 佳作 冷たい手待たせてごめんと君が言う
- ◎第四十回大阪府クラブ対抗スキー競技大会
 - ジャイアントスラローム少年少女の部
 - 第一位 前田 優子
 - 第二位 松居 里紗
 - ・第二十五回神鍋ジュニアダウン記録会
 - 女子高校生の部
 - 第一位 松居 里紗
 - ・第五十四回大阪高校スキー新人大会
 - 高校女子クロスカントリー5kmフリー部
 - 第一位 辻中 瑞絵
 - 第二位 辻中 瑞絵
 - 第三位 辻中 瑞絵
 - 第四位 前田 優子
 - 女子ジャイアントスラローム部
 - 第一位 明浄学院高等学校
 - 第二位
 - 第三位
 - 第四位
 - ◎大阪高等学校体育連盟バレーボール専門部
 - 平成20年度本専門部優秀選手
 - 大賞 三年 川原 博美
 - 奨励賞 三年 阪本 麻衣
 - ◎第四十二回写生大会
 - ・第十九回伊藤園お祝いお茶新俳句大賞
 - 佳作 おばあちゃんヒョウ柄の次はゼブラ柄
 - 佳作 あと一点仲間を信じ勝ちにい
 - ◎大阪高校総合体育大会(第七ブロック予選)
 - ソフトテニス部
 - 優勝 木村・石原組
 - 準優勝 溝口・池田組
 - ◎第六十三回大阪高等学校総合体育大会
 - バレーボール競技の部
 - 第三位 明浄学院高等学校
 - ◎第五十七回大阪私立学術展覧会
 - 題名 青い色
 - 奨励賞 阪本 麻衣
 - ◎吹奏楽部
 - ・第四十七回大阪府吹奏楽コンクール
 - 特別演奏
 - 明浄学院高等学校

編集後記

今回は照思会前会長故竹上暁美さんの追悼集という事で前面に記載致しました。又皆様からの心暖まる話題なりお知らせ等あります。たら照思会広報へ御通知戴ければ幸いです。一年に一度の総会には懐かしい人との出会いがありますので是非御参加願ひいたします。